

# 第38回 日本基督教団総会

2012年10月23日(火)～25日(木)

総会速報発行委員会 発行

2012.10.25 13:44

## No.4

# 速報

soukai sokuhou

## 常議員決まる

教団総会2日目午後、常議員選挙を予備選挙を実施しない形で行われ、次のように選出された。

### 【教師】

投票総数5222票、有効投票数4985票、無効投票数237票(内白票197票)

高橋和人	225票
高橋潤	210票
藤掛順一	210票
小橋孝一	209票
長山信夫	207票
大村栄	207票
岡本知之	205票
北紀吉	205票
古屋治雄	205票
菅原力	204票
篠浦千史	203票
岡村恒	201票
深谷春男	196票
米倉美佐男	192票
以下補充員	
邑原宗男	156票
向井希夫	150票
後宮敬爾	147票
梅崎浩二	145票
柴田もゆる	140票
佃真人	133票
片岡舘也	128票

### 【信徒】

投票総数4849票、有効投票数4585票、無効投票数264票(内白票233票)

望月克仁	218票
遠藤道雄	214票
大杉弘	213票
朝岡瑞子	210票
鈴木功男	208票
河田直子	207票
佐久間文雄	205票
川原正言	203票
稲松義人	201票
岡田義信	201票
小林義春	200票
杉森耀子	200票
中島曉彦	200票
以下補充員	
東谷誠	147票
和田献一	139票
難波幸矢	137票
津村正敏	132票
藤巻朋子	126票
伊東永子	126票
佐藤京子	116票

## 総幹事に長崎哲夫氏選任



長崎哲夫氏  
(東京山手教会)

橋議長より謝辞が述べられ、内藤総幹事が挨拶した。

教団総会2日目午後、新総幹事(10月29日付・4年任期)が選任された。

常議員会より、長崎哲夫氏(東京山手教会牧師)が推薦され、359名中賛成223名で承認された。6年間総幹事として労した内藤留幸総幹事に、石

長崎新総幹事は次のように挨拶した。「7月の常議員会で総幹事に推薦され、総会で承認されるだろうかと思っていたが、こんな大勢の方が手を上げて下さりありがとうございます。これまで多くの人に助けられ、支えられてくることによってやってきた者です。主の助けと、皆様のお支えをいただきたいと思います。」

小出望議員が長崎新総幹事を覚えて祈った。



出版局長に選任  
竹澤知代志氏  
(現新報主筆)

▼NHK朝ドラの主人公は、他人の顔の裏に隠れているその人の正体が見えてしまうことで苦しむ。絶えずうなだれ、人を正視できない。▼CMで、スマートフォンそのものが、あたかも秘書や親友といった人間の姿で描かれているものがシリーズ化している。▼この二つを併せたような設定が盛り込まれている児童文学が、既に存在する。『フィラの冒険』シリーズだ。この世界では、人間は一人ひとりが、生まれながらに動物の姿

をしたダイモンを持つている。ダイモンとは、単なるペットではなく、その人の分身とも言えるし、本性とも解り得る。▼ライラの世界で教団総会が開かれたらと、空想に耽ってしまった。ライオンが吠え、武装したシロクマ同士が争い、蛇が足に巻き付き、鳥たちが空中戦を繰り広げる。正に修羅場だ。▼それとも、互いのダイモンがはつきりと見えるなら、最早、議論も争いも存在しないだろう。▼ところで、ダイモンはソクラテスのダイモニオンが原型かと思う。日本語で大紋のことであり、代紋とは、その筋の世界の看板だ。他人のそれはともかく、自分のダイモンを知っていたいものだ。

## 総会3日目の重要な議案

議事再開にあたり、議事運営委員会から優先審議事項順番が提案された際、急遽、松山萌子議員より、伊藤瑞男副議長に対する不信任が提出された。過去の常議員会に於いて、性差別発言があったにも拘わらず、以来一切の謝罪もないうという提案者の見解に基づくものであった。石橋議長は、審議時間がないことから、直ちに採決することを提案した。353名中128名の賛成で少数否決された。結果、あらためて信任された形となった。

10. 出版局長選任に関する件  
常議員会の推薦に基づき、竹澤知代志氏(玉川教会牧師、教団新報主筆)が選任された。

20. 21. 予算議案の審議にあたり、対抗議案の取扱いについて議論がなされた。42号「沖縄宣教連帯金」減額分返金の件(提案者・九州教区総会)を併せて上程すると共に、議案34号「合同のとなえなおしと実質化」に関する件(提案者・兵庫教区総会)を分割し、その1項を同時に上程して審議するとの提案が、議事運営委員会よりなされた。議案趣旨の観点から、分割に反対するとの意見も提出され、別途、取り扱われることとなった。

42. 第62回九州教区総会を提案者とする、「沖縄宣教連帯金」減額分返金の件が審議された。10・11年度の減額について、「沖縄教区に對して、深い反省と謝罪の意とともに、その減額分を返金する」という趣旨であった。提案理由が議案書に記された文章に加えて詳細に述べられた。更に「合同のとなえなおし」そのものや沖縄教区の財政、「対話拒否」の責任の所在に踏み込んだ観点から、賛否両方の意見が述べられた後採決され、358中158名の賛成で少数否決された。

20. 12年度教団歳入歳出決算、21. 13年度教団歳入歳出原予算は、原案が承認された。